

会 議 録

◇事務局－子ども家庭部子ども若者課

電話：03(4566)2471

附属機関又は 会議体の名称		第5期 豊島区子ども・子育て会議（第5回）
事務局（担当課）		子ども家庭部子ども若者課
開催日時		令和6年3月21日（木）午前10時00分～11時00分
開催場所		庁舎8階 807・808 会議室 Zoom によるオンライン会議（併用）
議 題		1 開 会 2 議 事 （1）新設施設の定員の認定について （2）私立幼稚園の特定教育・保育施設への移行について （3）アンケート調査について前回との比較 （4）第三期子ども・子育て支援事業計画策定について 3 閉会
公開の 可否	会 議	■公開 □非公開 □一部非公開 傍聴人数 0人
	会 議 録	■公開 □非公開 □一部非公開
出席者	委 員	塩谷香、島田由紀子、五十嵐元子、高橋朗子、池田由美、花房健、山口賀映、水越朋美、郡司佳映里、戸井田修一
	関係理事者	子ども家庭部長、教育部長、子育て支援課長、子ども家庭支援センター、保育課長、保育政策担当課長、健康推進課長、教育施策推進担当課長、放課後対策課長
	事 務 局	子ども若者課長、子ども若者課

審 議 経 過

【開 会】

事務局より資料確認

【協議事項】

会 長 では、議事に入ります。議事（１）について、説明をお願いします。

事務局（保育政策担当課長） 資料説明

会 長 ご意見、ご質問等がございましたら、お願いいたします。

委 員 こういったケース（事業譲渡）はこれから増えてくると思います。何時頃保護者への説明があったのでしょうか。穿った見かたかもしれませんが、経営的に上手くいかない事があって経営譲渡があったとすると、保育士の処遇等になんらかのデメリットが生じるのを心配しています。保育士をバックアップするための方策が必要だと思います。

保育政策担当課長 令和５年６月に保護者へ吸収合併のお知らせをしました。保育士の処遇については引き継ぐと伺ってます。雇用関係については区として直接関与はできませんが、保育の質に直結する問題ですので、処遇に対する配慮は区から要請していきたいと思います。園の状況は区としてしっかり把握する必要はあると考えており、区立保育園の園長経験者が巡回訪問を実施していますので、事業譲渡があった保育園については年度当初に訪問して園の状況を把握していきたいと考えています。

委 員 株式会社における事業譲渡については理解しました。今後、社会福祉法人についても、役員等の変更等いろいろ起きることは予想できます。行政としては基本的に申し出ベースの相談を受けることになるかと思います。また、国のほうで進めている社会福祉連携推進法人なども今後検討されていくものと考えています。社会福祉法人に対して今後どのようなスタンスで進もうとしているのか教えてください。

保育政策担当課長 社会福祉法人についても、同様に譲渡等が増えていくことは想定されます。手続きは異なりますが、しっかり対応していきたいと思います。保護者・子どもたちのために保育が継続されていく様、区として対応していく。

会 長 このあたりのことは私も心配しています。ぜひ、細かいところを丁寧をお願いします。その他にご意見等がございましたら、お願いいたします。

（意見等なし）

では、議事（２）について、事務局から説明をお願いします。

事務局（保育課長） 資料２説明

会 長 ご意見ご質問を募ります。
 (意見等なし)
 では、議事(3)について、事務局から説明をお願いします。

事務局(子ども若者課長) 資料3.3-2説明

会 長 ご意見ご質問を募ります。

委 員 アンケートは私の家にも届いたが書きませんでした。すごく分厚くて答えるのが面倒だったからです。小学生、中学生、若者の回収率が低かったとのことですが、実際どのように書いてもらったのでしょうか。今後どのように改善されますでしょうか。例えば、小中学生に対しては学校に直接お願いして学校の中で書いてもらったほうが良いのではないのでしょうか。大学生に関しては、子育てサークル等やゼミの先生にお願いする等で回収率を上げるとかの方法があると思います。

子ども若者課長 今回のアンケート回答者は住民基本台帳からランダムに抽出させていただきました。今回は、家庭の属性をクロスするために保護者とお子さんのペアで調査をしましたが、そのやり方も今後考えなければいけないと思っています。学校のタブレットの活用も今後考えていきたいと思っています。設問数ですが、前回(5年前)と比べてかなり質問数を減らしましたが、前回のアンケートと比較をして意識の変化を調査する必要もあり減らしきれませんでした。さらに検討したいと考えます。

委 員 アンケートの回収はWEBと紙面でしたが割合はいかがだったのでしょうか?資料3-2は前回の比較、①は単年度の比較はこの並びで良いが、年による比較を見るのなら平成30年と令和5年を横にくっつけたほうが見やすいと思いました。

子ども若者課長 WEBの回答率と郵送の回答率は調べております。グラフの見せ方については工夫をしたいと思っています。

委 員 調査数は、社会調査的に有効ならこれで良いと思います。ただ、回答率が上がっているのは、地域団体や区施設職員の数が多くそれで回収率が上がっているのも、他の票の回収率について今後分析する必要があると思います。

子ども若者課長 地域団体の方は直接お願いできるので回収率は高いですが、低い、子ども、若者に対して回収率を上げる方法を考えていきたいと思っています。

会 長 アンケートの中に、お稽古事の要望が多いというのが大変気になっています。仕事で長時間保育や学童を必要としている方々が、子どもの安心や教育として稽古事を考えている人が多いと思います。こういうサービスを提供している所が今後いろいろなサービスを提供してくると思いますが、保護者としては良いが、子どもにとって本当に過ごしやすい場所になるかどうか不安です。情報の提供の仕方について区として検討して欲しい。

子ども若者課長　主に小学生以降の話になるのかなと思います。子どもスキップでは放課後子ども教室を実施しています。地域の方や NPO、ボランティアの方が体験的な事業を提供していますがどうしても大人目線で事業化しているところもあるかと思います。そういう意味で子どもの意見を聞きながら、子ども目線で事業を運営していきたいと思います。

放課後対策課長　稽古事についてはアンケートのみでなく要望が高いことは承知しています。放課後子ども教室の事業展開の参考にさせていただきたいと思います。

子ども若者課長　先ほどの回答率は WEB が 51.0%と郵送と約半々でした。

委　員　　できれば、種類別、年代別の回答率を教えてください。

子ども若者課長　議事録を委員の皆さまに確認していただくタイミングで、カテゴリー別の割合をお送りしたいと思います。

会　長　　議事（４）について、説明をお願いします。

事務局（子ども若者課長）　資料４説明

会　長　　次期計画についてこんな視点を盛り込んで欲しいという意見を一人ずつ出していただけますでしょうか。

委　員　　支援者側へのサポートが必要になってくると思っています。今日の最初の議題にもありましたように、保育士の労働条件について心を痛めています。学生の就職率にも影響します。支援者側のマンパワーと質的向上を充実させていく必要があります。支援者支援を一層充実させてほしい。

委　員　　同じく支援者の人材育成が重要だと思います。若い保育者が上手に経験を重ねていくのが大変難しいと考えています。そのあたりをどのようにしていくのが良いのか。新卒の学生さんにとっては、保育の現場には沢山の種類の人がいるのでそれに対応するにはいろいろ難しいのではないかと感じています。本当にどうしたら良いかを深く掘り下げて、考えて欲しいです。

委　員　　支援者へのサポートが必要だと思います。小学校の担任の先生から、余計な仕事が 10 個以上あると聞いています。先生たちの時間が本当にないです。先生がいかに楽しく授業ができるかというのを、行政だけでなく、民間の支援の人たちを加えて話し合いをして欲しいと思います。もう一つは、じゃない方の子への対応、例えば、外国籍の方、グレーな方、不登校な方、シングルの方、ウチの子もダウン症を持っていて豊島区立の幼稚園では無理で、中野区の私立幼稚園に入りました。そういう子達への支援を、行政でできなければ、NPO 法人・社会法人もありますので、そういう人々が参加する楽しい会議にしてほしいです。

委　員　　本委員会に参加するのを楽しみにしていました。ただ、数字の報告を聞くだけという印象があつて、区がこんな事をやりましたっていうのに対して、意見を言わないと承認するだけの場

になってしまっている感があります。スケジュールを見ると小中学生や若者の意見を聞く場がありますが、いきなり意見を聞くといっても難しいので、ちゃんとした意見を聞けるように工夫をしてほしい。子どもや若者の意見を聞くなら学校と連携したり、子どもたちが自分事として考えられたりできるようにお願いします。

委員 保護者として感じているのは、この5年で求められている事が非常に変わってきているなということです。習い事もそうですが、親同士のネットワークが大きく変わっています。コロナの影響で、遊びに行っても良いかどうか悩んだりしています。子育てを地域と施設と家族で乗り越えていこうと工夫しているところもあるので、時代の変わり目、ニーズの変化をしっかりとらえた計画にしてほしい。小学生に意見を聞くといっても属性がいろいろあるので、どういう選定基準で、何人ぐらいに聞いて、どういうやり方で計画に盛り込むのか。子どもたちの変化をとらえた計画にしてほしい。

委員 豊島区として計画の量が多いなと思います。もう少しシンプルにする必要があるのではないかと考えています。いろいろな問題が在る中で、課題として子どもの数を増やしたいのか、教職員の数を増やしたいのか。例えば、「3人の子どもの安心して育てられる豊島区」とか「教職者・保育者の数を2倍にする」とかシンプルに大人も子供も分かりやすい計画が必要ではないかと考えています。それを保護者や教職者や子どもたちが感じられる情報発信をしていかないと、大変な業務をしている皆さんの事が伝わっていないのではないかと思います。分かりやすい豊島区の子育て支援計画にしていただければと思います。

委員 認可保育所の定員について話をしたいです。豊島区は区外への転出がすごく多いと感じています。その意味で魅力ある豊島区づくりというところで子ども子育て支援計画はとても大事だと思っています。国は、ついこの間まで待機児童対策を投げかけてきて、それに応じる形で保育施設を増やしてきましたが、ここで一気に潮目が変わって、空き定員の問題が顕在化してきたと思います。豊島区ではたぶん私立保育園の空き定員が650ぐらいになっていて、保育所の経営不安がでてきています。普通に考えれば民間の事業者の自然淘汰となるが、保育園自らが定員減をしています。そのあたりが行政主導では難しいでしょうが、今後大事になってくると思います。

委員 このところ園児の欠員がずっと続いています。経営不安を感じている園長が多いと思います。加えて人員も不足しています。支援者へのサポートや適正な配置を皆で考えていかなければならないと思います。また、保護者はいろんな情報が欲しいです。ひとり親は自ら情報を取りに行く時間や手段が無いと思います。情報提供の仕方を考えていくといいのかなと思っています。

委員 私立保育園や、区立保育園の在り方を考えていく必要があります。アンケートの結果で、保護者のニーズと子どもの要望、区の財政というところがあると思います。子どもの意見を取り入れることがとても大切な中で、現段階だけでなく、10年後子どもが大きくなっていく先を見据えて豊島区の施策を考えていく必要があるかなと思っています。

会長 人権教育がとても大切です。豊島区は人権を重視してきたが今後ますます打ち出していきたいと思っています。学校のみならず、人が生活する中で、今後どう大人が行動していくかがと

でも大切です。豊島区が先頭にたって進めていただきたいと思います。

会 長 追加の質問・ご意見はございますでしょうか。

委 員 資料 3-3 の質問に戻りますが、5P の 7-6-6 ですが、保護者が何歳ぐらいまで育休をとっているか等、子どもの年齢毎に分析をしてほしい。15P の 7-7-17 と 16P の 7-7-20 ですが、アンケートでパーセントが 0.1 ぐらいだとすごくニーズが少ないような気がします、人数表記をすると年間何人ぐらい必要なのかが分かると思います。

子ども若者課長 年齢別をクロスにできればしたいと思います。資料の作成が間に合えば、パーセントだけでなく人数も出せれば出せるようにします。

教育部長 先生の多忙は仰るとおりだと思います。教育と違うところ、アンケートや給食費を集める仕事で忙しくなってしまいます。その結果、東京都では就職倍率が 1.1 倍になってしまっています。教育費の無償化は目的が違いますが、先生の仕事を減らす効果があったと思います。また、アンケートも精査していきたいと考えています。そのあたり、皆さまの意見を踏まえ進めていきたいと考えています。

子ども家庭部長 豊島区は計画を一冊にまとめてシンプルにしていますが、子ども子育て会議だけは、量の問題を数で出さなければいけないので、独立して章立てしています。今までは数が足りないために量の問題だけでしたが、最近では質を含めた量を考えていく必要があると考えています。人材育成や支援者サポートについても、何とか、単純な量だけでなく質を含めた計画を作成していく必要があると思っています。また、保育園の役割も、保育を必要としているご家族のみでなく、家庭で子育てをしているご家族を支援する役割も求められるようになりました。私共も、児童相談所を設置し、保育園の検査を行うようになりましたので、質の面を計画に反映させていきたいと思っています。また、皆様のご意見を伺い、シンプルな目標、区の将来に反映する計画にしていきたいと思っています。

会 長 以上をもちまして、第 5 回子ども・子育て会議を終了いたします。ありがとうございました。

提出された 資料等	資料 1 新施設の定員の認定について 資料 2 私立幼稚園の特定教育・保育施設への移行について 資料 3 アンケート調査回収率と前回との比較 資料 3-2 保護者へのアンケート結果について前回との比較 資料 3-3 豊島区子ども・若者の実態・意識に関する調査（抜粋） 資料 4 豊島区子ども・若者総合計画改定スケジュール（案）
--------------	--